

先日今年の「サラリーマン川柳」が発表されました。毎年上手だなあと感心させられるのですが、また実によく世相を反映していて、今年の作品も「再雇用」とか「インスタ映え」といった言葉が盛り込まれていました。そんな中で気になったのは、例えば「人事異動 オレの後任 人工知能」とか「ライバルが 去って A I 現れる」のような A I を使った作品でした。A I という言葉自体は少し前からある言葉で、映画好きの人ならスピルバーグ監督の作品などを思い出すかもしれません。その当時はまだ絵空事に近い感覚でこの言葉を捉えていたと思われそうですが、最近はずいぶん事情が変わってきました。さきほどのサラリーマン川柳にもあるように、A I はどこか自分の存在を脅かしかねないものとして、一種畏怖の念をもって捉えているようです。

A I に対して漠然とした不安を感じていたところ、先日本屋で、市役所職員から哲学者に転身したという異色の経歴をもつ小川仁志さんの近著『A I に勝てるのは哲学だけだ』という本に出会いました。かねてからこれからの時代に一番必要な学問は哲学じゃないかと思っていたので、すぐに手に取ってみました。筆者は A I 時代に求められる能力は「考える力」だと述べています。それも「じっくり考える」能力です。確かに私たちは分からないことがあると、ややもすればすぐにインターネットに頼ってしまいます。欲しい情報が瞬時に得られるのはたいへん便利なことです。周りを見てみると、つつい時間がたつのも忘れてスマホを触っている人がいかに多いことか。そのうち分からないことがあると、自分で何も考えようとせずに「グーグル先生」に聞くだけ、なんてことになってしまいそうです（もうなっているかもしれません）。これでは確実に人間は A I に取って代わられる存在になってしまうでしょうね。

この本の副題は『最強の勉強法 12 + 思考法 10』です。著者はこれからの時代に哲学的思考をするための、すなわち A I に負けない力を付けるための方法も紹介してくれています。その中に「課題解決勉強法」というものがあります。正確には現在豊田西高校で取り組んでいる「課題研究」とは異なるのですが、「暗記型重視」の学習から「思考力重視」の学習へという、これからの教育の流れとは合致するものです。そして「課題」に気づくためにも、常日頃から自分たちの身の回りに起こっていることに興味関心をもたなければならぬと述べています。ボーとしていたらチョコちゃんに叱られるだけならまだしも、これからの時代には居場所がなくなってしまいます。

ある意味原点回帰かなとも思います。大人になるにつれて当たり前のことを当たり前で済ますようになってきます。そうではなく、もう一度子供のように好奇心旺盛にいろんなことに疑問をもち、その疑問にどう対処したらよいのかという A I には決してできない勉強方法で自分を鍛える必要があります。

3月までの主な進路行事

- 「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。
- 2/9(土) 10(日) 2年 模試(進研マーク5教科)
 - 2/22(金)~28(木) 学年末考査
 - 2/25(月)~ 国公立大学2次試験(前期日程)
 - 3/1(金) 卒業式
 - 3/4(月)~8(金) キャリアウィーク
 - 3/2(土) 土曜セミナー、卒業生懇談会
 - 3/9(土) 2限授業後、入試会場準備
 - 3/6(水) 代休(定時制前期入試)
 - 3/11(月)~14(木) 家庭学習(全日制入試)
 - 3/8(金)~ 公立大学2次試験(中期日程)
 - 3/12(日)~ 国公立大学2次試験(後期日程)
 - 春季休業中 1年 大学学部・学科研究、学問研究
 - (3/21(木)~4/7(日) 2年 2次試験問題研究
 - ただし、4/5(金)は出校日

1年生

<文型・理型の類型選択を行いました>

今後の進路・人生を大きく方向づける「類型選択」を行いました。生徒の夢・目標に基づいて担任との面談を行い、幅広い可能性を考えながら面談を進めました。担任も、生徒の思いと向き合うとても貴重な機会となりました。御家庭におかれましても、お子さまの将来について考える有意義な時間を持っていただけたことと思います。来年度も、生徒の夢・目標が実現できるように学年団の教員が丸となって全力でサポートしてまいります。

<学年末考査が近づいてきました>

2月22日(金)から28日(木)に学年末考査が全11科目で実施されます。3学期は、定期考査が1回のみなので、範囲も広く内容も深いものになります。また、1年間の集大成の考査でもあります。苦手な科目をそのままにしないためにも、早めに準備に取り組み、高校入学以来最高の結果を残すことを目指してもらいたいものです。

<進路SLをすすめています>

大学入学共通試験をはじめ、大学入試のしくみに関する学習や、自分の目標とする大学・学部・学科の研究を行いました。入試は遠い先の話ではなく、今から取り組むべきものとして捉えることができるよう、活動をすすめています。春季休業中にも、大学入学後の生活を踏まえて研究を行う進路課題があります。今のうちからさまざまなことに興味を持ち、その上で自分の進路を選び取る姿勢をもってもらいたいと思います。

2年生

<学習合宿>

今年度も恒例の2年学習合宿を12月25日(火)から3泊4日の日程で行いました。世の中はクリスマスや年末で慌ただしい中ですが、都会から離れた田原市の伊良湖シーパーク&スパは伊勢湾を一望できる落ち着いた絶好のロケーションで、291名の参加生徒は皆集中して1日10時間の学習に取り組むことができました。合宿3日目の27日(木)には、小瀧校長先生が激励に来てくださり、日本史の特別講義も実施されました。本校では2年生3学期を「3年0学期」と位置づけており、国・数・英の基礎力を完成させることを目指しながら、受験生になるための意識や学習体力を養う期間としています。この合宿を「3年0学期」の好スタートを切るよいきっかけとし、来年度の志望校合格に向けて努力を継続してほしいと思います。



校長先生の特別講義

<課題研究>

4月より班ごとにテーマを設定して行ってきた課題研究。各班とも2学期のうちに実験データを取り終え、3学期は考察をまとめながら発表資料を作成しています。2月13日(水)に中間発表会を実施し、外部評価委員の先生方や本校の教員、後輩の1年生に成果を発表する予定です。ここで頂いた助言を活かし、来年度の研究に繋げてほしいと思います。

3年生

<大学入試センター試験を受験しました>

今年は中京大学、名城大学、天白高校、昭和高校の4会場に別れ、1月19日、20日の2日間で実施された大学入試センター試験を受験しました。試験直前まで黙々と学習する様子は、豊田西高校の最高学年として、とても頼もしい姿でした。前日には教室で担任の先生からの熱いエールとともに、合格飴とキットカットを受け取り、その後武道場で毎年恒例のセンター試験激励会が行われました。緊張した面持ちの生徒も見受けられましたが、校長先生や第三学年担当の先生からの激励の言葉を受け、前向きな気持ちで本番に臨むことができた生徒も多かったことでしょう。試験当日は、両日ともそれぞれの会場に別れて、教員も応援に駆けつけましたが、会場に向かう生徒の姿からは「さあ、やるぞ」と意気込みが感じられました。1日目は晴天で澄んだ青空に背中を押され、清々しい表情で試験会場へと入って行きました。2日目は時折雨も降りましたが、1日目の結果を物語るような堂々とした表情で門をくぐり、試験を受けに行きました。きっと3年間の努力の成果を存分に発揮してくれたことと思います。



センター激励会、気合いだあ！！

<センター試験後の特別講座、小論文指導>

センター試験の自己採点結果に基づいて面談を行い、国公立大学の出願先を決定しました。3年学年団全員で一人一人の可能性を検討し、ベストの出願ができたものと確信しています。本校生徒が目指す多くの大学では、センター試験の配点よりも個別試験の配点の方が高いため、本当の勝負はここからです。2次試験に向けて、志望校合格に向けた特別講座や小論文指導も用意しました。センター試験が終わって一息つきたいところですが、豊田西高校は最後まで学力アップのサポートをしていきますので、集中力を切らさず最後まで頑張ってください。現役生はこの時期が最も力を伸ばすときです。学校を最大限に活用して仲間と共に勉強し、合格を勝ち取ってください。御家庭におかれましても、これから行われる試験に向けて前向きに接していただきたいと思います。温かい御支援をお願いいたします。



小雨降る中、名城大学にて

